

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4606		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	山本 大		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 4		
講義室	1402	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP4-F（探究力・課題解決力）問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3-G（状況把握力・判断力）自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-I（理解力・分析力文章表現）、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J（創造的挑戦力・達成力コンピテンス）の開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP8-M（省察力知識と経験）とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F1 探求と論拠（20%） G1 状況把握（40%） I1 理解・分析と読解（20%） J1 継続的学修基盤（10%） M1 統合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験	Jリーグクラブや日本サッカー協会専属のプロサッカーコーチとして、これまで多くの選手・指導者を養成してきました。また分析力や論理力などの思考力、および発言の仕方やレポートの書き方など言語技術講師としての経験があります。これらの経験を生かして、指導者として現場に必要な能力を身につけることを授業を通して伝えます。（第1回～第3回、第6回、第9回～第12回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	ゼミナールⅠに続き、グループでの作業を進め、最終的には研究発表会を開催します。研究発表会に向けて、研究のプレゼンテーション方法について実践を通して学んでいきます。また、卒業研究として各自が取り上げたい課題を選択していく準備を行い、論文の書き方についても理解を深めていきます。授業形態は講義形式により、オンライン（オンデマンド型・ライブ配信型）にて行います。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。なお、授業を補充・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード 研究・省察・議論		
授業の趣旨	■授業の副題 ゼミナールⅡは、ゼミナールⅠで学んだ基礎を基に、各自が設定した戦術的課題を抽出し、その原因と解決法について各自が調査と発表をおこないます。 ■授業の目的 各自がテーマを設定し、テーマに沿って戦術的な課題の抽出し、解決の方法を見つけ出します。さらに解決方法を、映像や文章で発表できる能力を身につけると共に、積極的・建設的に発言できるようになることを目的とします。 ■授業のポイント 学習の仕上げとしてゼミ生は、「何を伝えるか?」をテーマにレポートを作成し、「どう伝えるか?」をテーマにプレゼンテーションをおこないます。		
総合到達目標	■各自が専門とする種目の戦術的課題を発見する観察力および分析力を養い、さらに解決のための方法を考案できる能力を高めるために、発表や議論の実践を通して修得する。 ・球技における戦術的課題を、観察から課題となるポイントを見つけることができる。（第2回～第7回） ・映像を用いた分析方法を理解し、実行できる。（第9回～第12回） ・テーマに基づいたレポート作成やプレゼンテーションができる。（第9回～第14回）		
成績評価方法	（成績評価手段）ディスカッション・プレゼンテーション・授業参加度 ■ディスカッション（20%）適応ルーブリック F1、G1、I1 （評価の観点）発言が論理的か、また他者の発言・発表に対して建設的に批判できるか、発表と質疑応答の量と質を評価します。 （フィードバックの方法）授業最後に振り返りを行います。 ■プレゼンテーション（60%）適応ルーブリック J1、M1		

	(評価の観点) レジメとレポート発表の内容を評価します。 (フィードバック) 発表後、講評します。 ■授業参加度 (20%) J1 (評価の観点) 出席状況および態度を評価します。	
履修条件	ゼミナールⅠ (SSCS4605) を履修してください。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業内容 自身が扱う研究テーマを、議論を通して確認と検討する。(F1、G1) 【ライティングスキル】プレゼンテーションの基礎を理解し説明できる。(I1、J1、M1) 担当者の実務経験を踏まえて、ライティングスキルについての講義をします。 ③予習 (120分) シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習 (120分) ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。
	2	①授業テーマ テーマの検証① ②授業内容 撮影してきた自チームの映像から課題を抽出する。(F1、G1) 【ライティングスキル】テーマに沿った文献について発表し、議論を通して理解を深めることができる。(I1、J1、M1) 担当者の実務経験を踏まえて、分析の手法と課題の抽出方法についてアドバイスをします。 ③予習 (120分) 実践予定の種目について、歴史やルール、どんな戦術があるかを調べておく。 ④復習 (120分) 実践した内容を記録しておく。
	3	①授業テーマ レポート実践① ②授業内容 テーマに沿ってレポートを書く。(I1、J1、M1) 担当者の実務経験を踏まえて、ライティングスキルについてのアドバイスをします。 ③予習 (120分) 映像を確認し、戦術的行動の効果や課題を探し出し、箇条書きやキーワードでまとめておく。 ④復習 (120分) 議論した内容やノートをまとめておく。
	4	①授業テーマ 発表実践① ②授業内容 前回作成したレポートを基に発表と質疑応答をおこなう。(I1、J1、M1) ③予習 (120分) レジメおよび発表用資料を作成する。 ④復習 (120分) 発表と質疑応答についてまとめておく。
	5	①授業テーマ 先行研究報告① ②授業内容 先行研究について各自が持ち寄り報告会をおこなう。(I1、J1、M1) ③予習 (120分) 興味のある先行研究を精読し、報告用のレジメを作成する。 ④復習 (120分) 議論した内容やノートをまとめておく。
	6	①授業テーマ レポート実践② ②授業内容 テーマに沿ってレポートを書く。(I1、J1、M1) 担当者の実務経験を踏まえて、ライティングスキルについてのアドバイスをします。 ③予習 (120分) 映像を確認し、戦術的行動の効果や課題を探し出し、箇条書きやキーワードでまとめておく。 ④復習 (120分) 議論した内容やノートをまとめておく。
	7	①授業テーマ 発表実践② ②授業内容 前回作成したレポートを基に発表と質疑応答をおこなう。(I1、J1、M1) ③予習 (120分) レジメおよび発表用資料を作成する。 ④復習 (120分) 発表と質疑応答についてまとめておく。
	8	①授業テーマ ゲストスピーカーによる講演 ②授業内容 何を伝えるか？どう伝えるか？ということを専門家とのディスカッションを通して理解し説明できる。(I1、J1、M1) ③予習 (120分) 以前、作成した発表用資料を見直しておく。 ④復習 (120分) 議論した内容をまとめておく。
	9	①授業テーマ レポート準備① ②授業内容 各自が設定した課題に沿ってデータを集める。(I1、J1、M1) 担当者の実務経験を踏まえて、分析の手法と課題の抽出方法についてアドバイスをします。 ③予習 (120分) データ収集と先行研究を精読しておく。 ④復習 (120分) 書いたレポートに加筆修正をしておく。
	10	①授業テーマ レポート準備② ②授業内容 各自が設定した課題に沿ってデータを集め、レポートを作成する。(I1、J1、M1) 担当者の実務経験を踏まえて、ライティングスキルについてのアドバイスをします。 ③予習 (120分) データ収集と先行研究を精読しておく。 ④復習 (120分) 書いたレポートに加筆修正をしておく。
	11	①授業テーマ 発表準備① ②授業内容 映像資料と読み上げ原稿の準備をする。(I1、J1、M1) 担当者の実務経験を踏まえて、プレゼンテーション資料の作成方法とスピーチについてのアドバイスをします。 ③予習 (120分) 課題に即したデータを収集しておく。 ④復習 (120分) 発表原稿を見直しておく。
	12	①授業テーマ 発表準備② ②授業内容 映像資料と読み上げ原稿の準備をする。(I1、J1、M1) 担当者の実務経験を踏まえて、プレゼンテーション資料の作成方法とスピーチについてのアドバイスをします。 ③予習 (120分) 課題に即したデータを収集しておく。 ④復習 (120分) 発表原稿を見直しておく。
	13	①授業テーマ 発表① ②授業内容 作成した資料で発表をおこない、質疑応答および議論をおこなう。(I1、J1、M1) ③予習 (120分) 発表資料を準備しておく。 ④復習 (120分) 議論や発表の内容をまとめておく。

	14 ①授業テーマ 発表② ②授業内容 作成した資料で発表をおこない、質疑応答および議論をおこなう。(I1、J1、M1) ③予習(120分) 発表資料を準備しておく。 ④復習(120分) 議論や発表の内容をまとめておく。
	15 ①授業テーマ ゼミナールⅡのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅡで行われた授業内容を振り返り、卒業研究に向けて必要な情報を整理する。 ③予習(120分) ゼミナール開始から収集したデータや精読した先行研究を整理しておく。 ④復習(120分) 卒業研究に向けて必要なデータや文献の整理を行っておく。
関連科目	コーチング学研究法演習(SSCS2317)
教科書	特にありません。
参考書・参考URL	特にありません。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 必要な時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜2限。それ以外の時間については、教員と予約日時を相談後、研究室で対応します。
研究比率	

